

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	(5)	<u>身体拘束をしないケアの実践</u> スピーチロックについて、介護スタッフ間での意識化と、代わる方法を考え実践すること。	「ダメ、早くして、待って、危ない」の言葉を意識して言わない。制止が必要な時は、その理由を添えて伝えることとする。	毎月のスタッフ会議で対応を共有し、日々の業務の中で、お互いに気になったことを、拘束廃止委員会に上げて確認する。	6ヶ月
2	(14)	<u>一人ひとりの尊重とプライバシーの確保</u> 本人の知られたくない情報を日常生活の中で他の人に知られない配慮をすること。	病気のこと、飲んでいる薬のこと、排泄の状況や、ネガティブな家族情報や、過去の生活歴などは、他の人の耳に入らないようにし、ケア記録は、不特定多数の人の目につかないようにする。	長年の共同生活で陥りやすい馴れ合いを意識することをスタートに、守るべきプライバシーを確認する。気付いたことは、毎月のスタッフ会議の席で協議し、共有する。	6ヶ月
3	(2)	<u>事業所と地域とのつきあい</u> 地域とのつながり方の視点の広がりや方法を模索していくこと。	ホームを会場にしてのパン作り教室など、カルチャースクール的な催しで、地域の人を呼び込みつながっていく。	地域住民(特に一人暮らし老人など)の興味のあることや、失われつつある地元の文化を伝承するための講座などを、地道に開講していく。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。